

建築物エネルギー消費性能基準 [H28年4月以降]
一次エネルギー消費量計算結果(住宅)

1. 住宅／住戸(タイプ)の設計一次エネルギー消費量等

(1)住宅／住戸(タイプ)の名称(建て方)	外皮計算提案書(提案)(戸建住宅)			
(2)床面積	主たる居室	その他の居室	非居室	計
	29.81㎡	51.34㎡	38.93㎡	120.08㎡
(3)地域の区分/年間日射地域区分	5地域		A3区分(年間の日射量が中程度の地域)	
(4)一次エネルギー消費量(1戸当り)			設計一次エネルギー[MJ]	基準一次エネルギー[MJ]
	暖房設備		15471	18895
	冷房設備		2305	2094
	換気設備		5209	4542
	給湯設備		20241	27810
	照明設備		5212	10763
	その他の設備		21241	21241
	太陽光発電等による削減量		—	—
	合計		69679	85344
(5)判定	一次エネルギー消費量[GJ/(戸・年)]		69.7	85.4
	結果		達成	
(6)BEI	一次エネルギー消費量(その他除く)[GJ/(戸・年)]		48.5	64.2
	BEI		0.76	

本計算結果は、当該住戸が建設される地域区分及び設計内容に、一定の生活スケジュールに基づく設備機器の運転条件等を想定し計算されたもので、実際の運用に伴うエネルギー消費量とは異なります。
(4)の各用途内訳を足した値と合計は四捨五入の関係で一致しないことがあります。(5)の値は小数点以下一位未満の端数を切り上げているため、(4)の合計と一致しないことがあります。

2. 住宅／住戸(タイプ)の仕様

(1) 暖冷房仕様

外皮／設備項目		外皮／設備の仕様
A. 外皮	評価方法	当該住戸の外皮面積の合計を用いて評価する
	総外皮面積	307.52 ㎡
	外皮平均熱貫流率	0.59 W/m ² K
	平均日射熱取得率	暖房期 η AH: 2.5 冷房期 η AC: 2.6
	通風の利用	主居室:通風を利用しない その他の居室:通風を利用しない
	蓄熱の利用	蓄熱を利用しない
	床下換気システムの利用	床下換気システムを利用しない
B. 暖房設備	運転方式	居室のみを暖房する
	設備仕様	【主たる居室】ルームエアコンディショナー 特に省エネルギー対策をしていない 【その他の居室】ルームエアコンディショナー 特に省エネルギー対策をしていない
C. 冷房設備	運転方式	居室のみを冷房する
	設備仕様	【主たる居室】ルームエアコンディショナー 特に省エネルギー対策をしていない 【その他の居室】ルームエアコンディショナー 特に省エネルギー対策をしていない

(2) 換気仕様

設備項目	設備の仕様
D.換気	ダクト式第一種換気設備 採用する省エネルギー手法: 径の太いダクトを使用し、かつDCモーターを採用する 換気回数: 0.5回/h 第一種換気設備の場合における有効換気量率: 0.92
E.熱交換	温度交換効率: 81% 給気と排気の比率による温度交換効率の補正係数: 0.9 排気過多時における住宅外皮経由の漏気による温度交換効率の補正係数: 1

(3) 給湯仕様

設備項目	設備の仕様
F.給湯設備	給湯設備・浴室等の有無
	給湯設備がある(浴室等がある)
	熱源機
	電気ヒートポンプ給湯機(CO2系冷媒)(評価しない) ふる給湯機(追焚あり)
	配管
	ヘッダー方式(ヘッダー分岐後のすべての配管径が13A以下)
	水栓
	台所: 2バルブ水栓以外のその他の水栓(手元止水・水優先吐水) 浴室シャワー: 2バルブ水栓以外のその他の水栓(手元止水・小流量吐水機能) 洗面: 2バルブ水栓以外のその他の水栓(水優先吐水)
	浴槽
	高断熱浴槽を採用する

(4) 照明仕様

設備項目	設備の仕様
G.照明設備	主たる居室
	すべての機器においてLEDを使用している 多灯分散照明方式の採用: 採用しない 調光が可能な制御: 採用しない
	その他の居室
	すべての機器においてLEDを使用している 調光が可能な制御: 採用しない
	非居室
	すべての機器においてLEDを使用している 人感センサー: 採用しない

(5) 発電仕様

設備項目	設備の仕様
H.太陽光発電設備	パネル面数
	太陽光発電を採用しない
	その1

	その2

	その3

	その4

	パワコン

I.コージェネレーションシステム	なし



(6) 太陽熱利用設備仕様

設備項目	設備の仕様	
J.液体集熱式太陽熱利用給湯	採用しない	
K.空気集熱式太陽熱利用設備	設備仕様	設置しない
	集熱器群の数・方位	*****
	集熱器群1	*****
	集熱器群2	*****
	集熱器群3	*****
	集熱器群4	*****

3. 参考値

(1) 設計二次エネルギー消費量等(参考値)

設計二次エネルギー消費量			未処理暖房負荷の 設計一次エネルギー消費量 相当値[MJ] *2
消費電力量[kWh] *1	ガス消費量[MJ]	灯油消費量[MJ]	
6710	3852	0	338

*1: 当該住戸で消費する電力量から、太陽光発電設備による消費電力削減量(太陽光発電設備による発電量のうち、当該住戸で消費される自家消費分)とコージェネレーション設備による発電量を差し引いた値を表記しています。

*2: 未処理暖房負荷とは、当該住戸に設置された暖房設備機器で処理できなかった負荷を指し、負荷を処理した暖房設備機器とは別の、何らかの暖房設備で処理したと仮定して、設計一次エネルギー消費量相当値に換算しています。

(2) 発電量・売電量(参考値) *1

発電量(コージェネレーション)[MJ]	発電量(太陽光発電)[MJ]	売電量[MJ]
--	--	--

*1: すべて一次エネルギーに換算した値